

河内町長の 施政方針要旨

平成12年度は、20世紀から21世紀への架け橋となる極めて重要な年であり、多くの課題の解決に向け、最大限の努力を傾注してまいりたいと考えております。

また、4月1日から施行になります地方分権一括法において実現する新たな自治制度により、真の分権型社会を目指し、分権改革の定着・推進に務め、地域の自立を促進するための条件整備に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

国においては、少子・高齢社会への対応、経済的困難の克服、変動する国際社会への対応など多くの課題に直面しており、制度・構造改革を飛躍的に推進し、回復基盤を固め、回復軌道に乗せる年としているようでありあります。

当町においては、公債費を中心とする義務的経費の増加など厳しい状況であり、財政運営に支障が生じることのないよう、また、住みよい活力と魅力ある町づくりを進めるため、さらに努力いたす決意であります。

新潟市・黒埼町合併については、平成7年に任意協議会が設立、以来5年にわたり合併問題について協議を重ね、全ての協議事項の合意が整い、合併の時期を新世紀の記念すべき平成13年1月1日との決定をいただいたところであります。

さらに、地方分権一括法施行第1号の合併であることにも、注目すべき意義があるところであり、決意を新たにいたしているところであり、また、平成12年度は5年ごとに行われる国勢調査の年にあたります。10月1日をもって全国一斉に行われる国勢調査は、国・県を始めとするあらゆる分野における施策の基本となる調査でありますので、町民各位の特段のご協力をお願いする所でありあります。

また、黒埼村は、明治34年（西暦1901年11月1日）5か村が合併し、黒埼村が誕生し、西暦2000年（平成12年）に100年を迎えることから、11月を中心として100年の記念すべき事業を、従来の事業を拡充する中で、町民が総参加できる各種イベント等を開催してまいります。

それでは、平成12年度の予算編成の内容につきまして、黒埼町第四次総合計画の「まちづくり・施策大綱」の5つの基本目標に沿いまして御説明申し上げたいと思っております。

水と緑を愛する
環境重視のまち
この路環境整備事業につきましては、平成10年度より着手いたしておりますが、本年度も引き続き工事を実施いたします。

環境衛生の向上につきましては、資源循環型社会構築の第一歩として、昨年度からごみの8分別収集を開始し、ごみの資源化向上対策に取り組んできたところであります。自治体にとって大きな課題となっており、ごみの減量化対策が急務であること

から、従来から実施してまいりました、コンポストの補助制度に加え、ごみの大部分を占める生ゴミの減量化を図るため、新たにEMボカシの減額販売制度も開始いたします。

都市下水路事業につきましては、市街化区域内の宅地排水路の環境整備と雨水排水路の確保に努めるとともに、広報車の更新を行い、消防力の整備に努めてまいります。

消防施設整備につきましては、災害対策の一面から消火栓の増設を行い、消防水利の確保に努めるとともに、広報車の更新を行い、消防力の整備に努めてまいります。

交通安全につきましては、当町の交通事故発生件数は平成9年7月24日を最後にゼロが続いておりますが、事故発生件数は増加し、今後の車社会の進展を考えますと、予断を許さない状況にあります。このため、引き続き交通安全を啓発し、交通安全意識の普及徹底を図るとともに、交通安全施設の整備充実を努めます。なお、小学校入学児童に安全帽子を配布し、児童の交通事故防止対策についても引き続き努めてまいります。

安心していきいきと暮らせる
健康と福祉のまち
「自分の健康は自分で守る」を基本として健康相談、指導の窓口である保健センターの充実を図るとともに、各種健康診断、訪問指導事業、健康率の向上等、予防事業

の展開と啓発を積極的に行い、健康づくりを推進してまいります。
救急診療体制については、休日、夜間診療を行う西蒲原休日夜間急患センターを広域で設置し、休日、夜間の救急医療体制の整備を行いました。
福祉についてはありますが、高齢者社会における課題のひとつである介護を、社会全体で支え合う介護保険制度の実施に向けて、昨年度、有識者からなる検討委員会から老人保健福祉計画並びに介護保険事業計画の答申を受けて、その計画に基づき保健福祉介護の施策を取り入れ、福祉の向上に努めたところであります。第1に、介護保険制度での認定もれ者対策であります。従来から訪問介護、デイサービス、ショートステイを利用された方で、自立と認定された方のサービス提供には、激変緩和の観点から従来どおりサービス利用ができるように致します。第2に、在宅サービスの3本柱であります訪問介護については、介護保険制度でのサービス提供として、社会福祉協議会、民間サービス事業所から提供できるよう、環境を整えサービス提供体制の確保を行う考えであります。第3に、福祉の地域づくりであります。高齢者の支援には行政では限りあることから、今後の高齢化社会に向けて地域の人から夕食配達と、安否の確認を行いながら、地域で支え合う地域づくりの先駆けとして、配食サービスを社会福祉協議会に委託し、福祉の地域づくりを推進してまいります。第4に、保健福祉関係と関係機関の連携であります。済生会第2病院に委託しております在宅看護支援センターに続き、懸案でありました在宅

の交流を促進していく所存であります。
商工業振興対策につきましては、依然として出口のみえない不況が続く経済情勢にあります。当町の商工業の経済環境も、非常に厳しい状況が続いております。産業育成資金及び商工業近代化資金融資につきましては、引き続き前年同様に対応していくこととし、町の制度融資資金に係る信用保証料の補給対象融資額を750万円といたしております。また、黒埼まつり実行委員会に対して新年度も補助をいたし、まつりの充実を図るものであります。今年、黒埼誕生100年にあたる第16回のまつりとなり、日程も8月18日から3日間を予定しております。

新潟都市圏の「心」にふさわしい
舞台装置充実のまち
道路事業についてはありますが、補助、起債事業をいたしまして、鳥原寺地線、須上線の2路線につき整備を進めることといたします。また、単独事業につきましては、鳥原新地鳴巻線、鳥原的場線、黒島亀貝線、新幹線西側側道2号線、板井味方線の5路線につき整備を進めることといたします。

サービスの総合調整、要介護者の情報管理など総合的な相談窓口である基幹型在宅介護支援センターを保健福祉課内に設置し、介護ニーズに適したサービスの提供に努めることとあります。

障害者の施策としては、住み慣れた地域で家族と共に生活が行われるよう、引き続き訪問看護やデイサービス等の生活支援事業を実施してまいります。

児童福祉対策につきましては、寺地保育所において、乳児保育及び延長保育を実施いたします。また、わくわくクラブにつきましては、新規に大野小学校区域内に「大野わくわくクラブ」を開設し、山田わくわくクラブ、立仏わくわくクラブとともに児童保育を実施いたします。

住民の豊かな英知が光る
生涯学習のまち
学校教育であります、懸案事項でありました南部地区小学校統合問題につきましては、平成12年2月18日付けで、木場地区・板井地区・黒島地区とも統合推進に同意されたということで、教育委員会から報告がありました。新年度は、早期に場所の選定及び基本構想を検討し推進していきたくと考えております。なお、基本構想につきましては、プロポーザル方式を採用し検討していきたくと考えております。

施設設備であります、体育施設整備事業については、黒埼中学校のプールが老朽化しているため、新たに建設し、体育の向上に役立てるものであります。